

平成30年度（2018年度）
山梨学院短期大学免許法認定講習

シラバス			
講習名	教育相談Ⅱ		
講習期間	平成30年8月3日（金）・8月8日（水）	時間数	8コマ
教室名	サザンタワー3階301教室	受講定員	20名
担当講師	野中 弘敏（保育科教授）		
講義概要	本講義では、臨床心理学の知見を手がかりに、保育・教育現場においてみられる心理的問題やその様相とともに、問題をとらえそれに対応する相談援助の考え方を知り、子どもや保護者への援助の基本的な視座を深める。同時に、教師・保育者自身が「元気である」「元気を取り戻す」ための視点と方法について理解を深めたい。また、教師・保育者の日々の実践を通じた「現場の知恵」を持ち寄り、具体的な問題への取組に資する知見を共有したい。		
学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自己理解・他者理解を深めるための視点と方法を体験的に理解する。 ・心理的諸症状とその背景・要因、対応の基本について理解する。 ・物語を通じて他者の心理的理解への視点を深める。 ・教師・保育者のメンタル・ヘルスについて理解する。 ・日々の事例を通じて現場における相談援助の実践に資する知見を得る。 		
タイムテーブル			
8月3日（金）			
コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
1	9:00～10:30 (90分)	構成的グループエンカウンター体験	グループカウンセリング体験を通じた自他理解を促す方法の理解
	10:30～10:40	休憩	
2	10:40～12:10 (90分)	講義：気分障害について	「(躁)うつ」の特徴と背景、回復(への援助)に関する理解
	12:10～13:00	昼食休憩	
3	13:00～14:30 (90分)	物語を通じた心理的問題の理解①	事例としての映像作品の視聴を通じた心理・対人関係の様相把握
	14:30～14:40	休憩	
4	14:40～16:10 (90分)	物語を通じた心理的問題の理解②	視聴後のシェアリングを通じた心理・対人関係の様相把握の深化
	16:10～16:20	休憩	
	16:20～16:50 (30分)	試験	

タイムテーブル			
8月8日(水)			
コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
5	9:00~10:30 (90分)	グループワーク：知合いましょう	グループワーク体験を通じた自他理解を促す方法の理解
	10:30~10:40	休憩	
6	10:40~12:10 (90分)	講義：ストレスについて	ストレス源・ストレス症状およびストレス対処に関する理解
	12:10~13:00	昼食休憩	
7	13:00~14:30 (90分)	ワークショップ：日々の事例から①	日々の心理的援助の取組を通じた問題の共有と解決への視点の深化
	14:30~14:40	休憩	
8	14:40~16:10 (90分)	ワークショップ：日々の事例から②	心理的援助の取組を通じた問題の共有と解決への視点の深化・総括
	16:10~16:20	休憩	
	16:20~16:50 (30分)	試験	
履修上の注意事項等			

平成30年度（2018年度）
山梨学院短期大学免許法認定講習

シラバス			
講習名	保育研究（環境）		
講習期間	平成30年8月9日（木）～8月10日（金）	時間数	8コマ
教室名	21号館301教室 他	受講定員	20名
担当講師	澤田 孝二（保育科教授）		
講義概要	<p>保育研究（環境）1日目においては、子どもの自然科学への興味・関心を深め、それらを遊びの中に積極的に取り入れていくことができるようにしていくことが重要であることをふまえ、自然や物を使った遊びや科学遊びの方法等について具体的に学習していく。2日目は、子どもの自然や生き物への興味・関心を深め、身近な自然や動植物との関わりを豊かなものにしていくことが重要であることをふまえ、身近な自然との関わり方や動植物の飼育・栽培の方法等について具体的に学習していく。</p>		
学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自然や物を使った遊びの方法について理解する。 ・科学遊びの方法について理解する。 ・自然環境との関わり方について理解する。 ・動植物の飼育や栽培の方法について理解する。 		
タイムテーブル			
8月9日（木）			
コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
1	9:00～10:30 (90分)	身近な自然を利用した遊び	身近な自然を利用した遊びの方法を具体的に理解する。
	10:30～10:40	休憩	
2	10:40～12:10 (90分)	身近にある材料を使った遊び	身近な材料を使ったおもちゃの作り方や遊び方を具体的に理解する。
	12:10～13:00	昼食休憩	
3	13:00～14:30 (90分)	水、空気、火などを使った科学遊び	水、空気、火などを使った科学遊びの方法を具体的に理解する。
	14:30～14:40	休憩	
4	14:40～16:10 (90分)	数を使った科学遊び	数を使った科学遊びの方法を具体的に理解する。
	16:10～16:20	休憩	
	16:20～16:50 (30分)	試験	

タイムテーブル			
8月8日(水)			
コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
5	9:00~10:30 (90分)	自然環境との関わり	動植物など自然環境との関わり方について理解する。
	10:30~10:40	休憩	
6	10:40~12:10 (90分)	生き物のユニークな生態	生き物の子育てなどユニークな生態について理解する。
	12:10~13:00	昼食休憩	
7	13:00~14:30 (90分)	身近な生き物の飼育	身近な生き物の飼育の方法について具体的に理解する。
	14:30~14:40	休憩	
8	14:40~16:10 (90分)	身近な植物の栽培	身近な植物の栽培の方法について具体的に理解する。
	16:10~16:20	休憩	
	16:20~16:50 (30分)	試験	
履修上の注意事項等			
・持ち物…はさみ、のり、セロテープ			

平成30年度（2018年度）
山梨学院短期大学免許法認定講習

シラバス			
講習名	図画工作科教育研究 I		
講習期間	平成30年8月20日(月)～8月21日(火)	時間数	8コマ
教室名	21号館104図画工作室	受講定員	10名
担当講師	伊藤 美輝（保育科教授）		
講義概要	<p>図画工作科教育研究（第1日目）では、人にとって「作ること」の意味を考え、図画工作科の意味と役割を理解することで、児童の学びと成長に寄与できる図画工作科の指導力を獲得することをねらいとする。</p> <p>図画工作科教育研究（第2日目）では、児童の学びと成長に寄与できる図画工作科の指導力を獲得する為に、図画工作科を構成する総合的要素から他教科との関連性を含んだ授業が展開できる視点をねらいとする。</p>		
学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図画工作科の基本的な目標及び各学年の目標と内容を確認すると共に、教科内時系列での展開と深度について理解する。 ・ 図画工作科を構成する総合的要素から他教科との関連性を検討する。 ・ 造形と科学の視点で、その可能性について作品制作を通して理解する。 		
タイムテーブル			
8月3日（金）			
コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
1	9:00～10:30 (90分)	「人の成長と造形活動」について、クレヨンの技法「こする、のぼす、重ねる、けずる」を通して考える	道具としての手と指の意味を、自らの造形活動を通して、身体の成長の視点で考察する
	10:30～10:40	休憩	
2	10:40～12:10 (90分)	「乳幼児期から児童へ」について、水彩絵の具を使用した表現技法を通して考える。	ファンタジーからリアリズムへ移行する時期の意味と課題について、水自らの表現から考察する。
	12:10～13:00	昼食休憩	
3	13:00～14:30 (90分)	「造形の基本過程・環境との関わりと表現」について、コラージュ制作を通して考える。	造形活動の要素1「きる、はる、ぬる」の視点で、素材に触れ関わり意味づけをする表現から考察する
	14:30～14:40	休憩	
4	14:40～16:10 (90分)	造形あそびにおける「様々な素材・画材による表現行為の拡大」について、素材・画材の視点で考える	造形活動の要素1「素材、はる、ぬる」、ミクストメディア技法の意味と造形活動の活性化について考察する
	16:10～16:20	休憩	
	16:20～16:50 (30分)	試験	

タイムテーブル			
8月8日(水)			
コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
5	9:00~10:30 (90分)	「現代美術と図画工作科の関係」について、ポンピドーセンター(フランス・パリ)の資料映像を鑑賞して考える	20世紀後半の表現の拡大と、教育における造形表現の変容について考察する。
	10:30~10:40	休憩	
6	10:40~12:10 (90分)	図画工作科の総合性1として、生活の素材から制作をおこない、図画工作科と生活科との関係を考える。	ホバークラフトを制作して「空気」の視点で造形活動をおこない、その考察する。
	12:10~13:00	昼食休憩	
7	13:00~14:30 (90分)	図画工作科の総合性2として、オブジェの制作をおこない、図画工作科と算数科・理科との関係を考える。	針金を素材としたオブジェ制作において「バランス」をテーマにした造形活動から、その関係性を考察する。
	14:30~14:40	休憩	
8	14:40~16:10 (90分)	図画工作科の総合性3として、飛ぶものを制作して、図画工作科と理科との関係を考える。	ストローを素材としたロケットと発射台を制作する活動から「失敗と発見」の関係性を考察する。
	16:10~16:20	休憩	
	16:20~16:50 (30分)	試験	
履修上の注意事項等			
<p>毎時間、講義内容を要約する受講レポートを作成します。</p> <p>講義で使用する素材画材は、教室に準備してあります。</p> <p>制作活動が伴いますので、活動しやすい服装で受講してください。</p>			